

まとめ

二糖類の中でもトレハロースは、乳量を増加させ、乳質を改善し、繁殖成績を改善した。さらに、トレハロースはルーメン発酵を活性化し、自給飼料体系における有効な添加物であることを立証した。加えて、トレハロースの持つ乳牛の乳中抗酸化活性の向上は、これまでに報告されていない新たなメカニズム、すなわちルーメン微生物の抗酸化作用を活性化させることによる乳腺細胞の抗酸化タンパク質の発現亢進によって行われていることを明らかにした。

これらの結果をもとに、現在、商品化が明治飼糧株式会社により進められている。なお、本研究は畜産技術協会「生産コスト低減畜産

生産技術開発推進事業」によって行われたものであり、本稿はその報告書の一部を抜粋し、改編したものである。

<参考文献>

Aoki, N., Furukawa, S., Sato, K., Kurokawa, Y., Kanda, S., Takahashi, Y., Mitsuzumi, H., Itabashi, H. (2010). J. Dairy Science. 93:4189-4195.
 Aoki, N., Sato, K., Kanda, S., Mukai, Y., Obara, Y., Itabashi, H. (2013) Animal Science Journal 84:42-47.
 青木直人,佐藤幹,神田修平,小原嘉昭,板橋久雄. (2013) 家畜栄養生理研究会報 57:21-32.

(さとう かん・東京農工大学農学部生物生産学科准教授、あおき なおと・東京農工大学大学院、おぼら よしあき・明治飼糧(株)研究顧問、いじま あつし・明治飼糧(株))

ト ピ ッ ク ス

**埼玉県とタイの経済交流を目的にビジネスネットワーク設立
—和牛輸出に向けたトップセールスも—**

埼玉県とタイ国との経済交流を目的とした「埼玉県タイビジネスネットワーク」がこのほど設立され、8月22日にバンコク市内のホテルで設立・交流会が行われた。当日は、同ネットワーク参加企業、在タイ日本国大使館、ジェトロ関係者、タイ政府関係者のほか、上田清司埼玉県知事も出席し、来場者は161人を超えた。この取り組みは埼玉県アセアン・ビジネスネットワークの一環で行われたもので、今回はベトナムとタイの2カ国において知事自らトップセールスも行った。

設立・交流会で上田知事は「埼玉県は自動車産業、精密機械を含めた工業が盛んであり企業の純増は日本一。GDPの伸びも目覚ましい。アセアンのダイナミズムを取り入れてさらに飛躍してほしい」と抱負を語り、あわせて農業生産も盛んであることをアピールし、

「農産物の輸出も大いに期待する」と結んだ。

会場には、埼玉県産の日本酒7銘柄とともに和牛肉



が用意された。特に、オリーブオイルとハーブ岩塩で調味した「和牛肉カルパッチョ風」の試食には長蛇の列ができる人気ぶり。このミッションに参加した(株)ミートコンパニオンの植村光一郎常務取締役は、「交流会では有意義な認知活動ができた」と成果を語った。なお、試食に供されたのは、農場管理獣医師協会(FMVA)の指導管理のもと生産された和牛肉で、埼玉県優良生産管理農場として認定されている関口農場で一貫生産された「彩さい牛」のシンタマ(個体識別番号1335150941)。